

神々と出逢う道—熊野古道

「熊野に参るには紀路と伊勢路の どれ近し どれ遠し」と、「梁塵秘抄」にうたわれた熊野古道-伊勢路。この道は、江戸時代には伊勢参宮を終えた旅人たちがたどったルートで、西国三十三カ所をめざす巡礼も歩いた道とか、狭い峠道を多くの旅人がつらなって歩く姿は、「嶺の熊野詣」とも形容されたといえます。深い緑、清らかなせせらぎ、歴史を感じさせる史跡とふれあいながら苔むした石畳を踏みゆくと、時間が止まってしまったかのように、ここが静みわたる瞬間に出逢います。その時、あなたは古の巡礼や熊野の神々と交感しているのかも—熊野から伊勢へ。伊勢から熊野へ通う歴史の道を通して、あなたが知らない熊野に出逢ってください。



5月3日

- 7:50 JR西口集合
GW中でいろんなツアーの集合が有り、すごい人
何とか係員を見つけて、熊野古道シャトルバスに乗車
8時出発予定が実際は8:20
雨&高速道渋滞のなか熊野へ
車中で、名古屋駅で買った出陣弁当を食べる
- 13:00 向井バス停着
11:35着の予定が大幅に遅れて到着
雨もあがって、いよいよ熊野古道:八鬼山越えコースへ



はじめは元氣



登りはしんどい



三木峠近くのサクラの森エリアに着く頃にはすっかり良い天気



17:20 三木里駅近くの民宿「嬉志野」到着

5月4日

7:55 三木里駅7:55発のJRで二木島駅へ



怪しい天気の本三木里駅前

8:05 二木島駅着、二木島峠～逢神坂峠コースへ



民家の庭を通るような、これも熊野古道



10:00 二木島峠～逢神坂峠コースを踏破し新鹿着
新鹿の町へ出た頃にとうとう雨、海岸の東屋で様子を見るも本降り
波田須の天女座COFEで昼食をとることにして出発

12:00 波田須の道から徐福の宮を経て天女座着
天女座は海外ではちょっと有名なシンセサイザー奏者、矢吹紫帆さんがやってる
音楽ホール



羽衣を纏った天女、ではありません



切符売場も改札口も、何もない波田須の駅

天女座の雰囲気良かったのと、足元が滑るという忠告を聞いて大吹峠は断念
途中、2度も新しいお茶とお菓子をサービスしてもらい、3時前まで長居
3:46発のJRで三木里へ戻る

5月5日

9:00 雨は上がって最終日出発(ちょっと筋肉痛)
一番楽な三木峠～羽後峠コース、曾根次郎坂・太郎坂コースへ



三木峠から見る賀田湾



11:00 三木峠、羽後峠を経て賀田へ
賀田の海岸沿いの普通の茶店で昼食後、曾根次郎坂・太郎坂へ出発



14:30 二木島駅へ
駅近くの農協ショップで缶ビール、あんパン他を買って、港の東屋で休憩
15:57発JRで尾鷲駅へ
尾鷲駅ではちゃんとシャトルバスが待っていた